

宇治茶生産地での聞き取り調査

上杉 和央

1. 調査概要

現在、京都府および関連市町村によって、宇治茶の文化的景観の世界文化遺産登録を目指した取り組みが進められている。この一環として、今年度は宇治茶の生産農家への聞き取り調査をおこなった。具体的には、京都府八幡市上津屋、城陽市上津屋、和束町原山、南山城村高尾において茶業を営む数名の農家へのインタビューを実施し、生業の変遷や建物の利用などを聞き取った。

本調査の成果については、京都府の作成する世界文化遺産に関する提案書に反映される予定である。

2. 調査従事者

調査参加者のうち、京都府立大学所属の者は上杉和央・島本多敬・宮下遙・豊田祥子である。

3. 調査風景



写真1 城陽市上津屋での聞き取り風景



写真2 城陽市上津屋での聞き取り風景



写真3 南山城村高尾の風景風景



写真4 南山城村高尾での聞き取り風景